

M-GTA研究会 第1回 修士論文発表会 プログラム

日時: 2008年9月14日(日) 10:00~18:00

会場: 東京大学 本郷キャンパス 法文2号館2階 2番大教室

進行:	10:00~10:10	開会の挨拶・趣旨説明 山崎浩司(東京大学大学院 人文社会系研究科)
	10:10~11:10	成果発表1 藤好貴子(久留米大学病院) 「小児科病棟新人看護師の臨床実践能力の獲得プロセス ～就職後3ヶ月間の経験より」
	11:10~11:20	休憩
	11:20~12:20	成果発表2 長山 豊(金沢大学付属病院) 「精神科急性期病棟における隔離・身体拘束の看護介入プロセス」
	12:20~13:30	昼食
	13:30~14:30	構想発表1(SV:小倉智子・佐川佳南枝) 田中 梢(日本女子大学大学院 人間社会研究科) 「大学における子育て支援グループ参加を通しての母親の自己受 容プロセス」
	14:30~14:40	休憩
	14:40~15:40	構想発表2(SV:佐川佳南枝・阿部正子) 白男川智子(ルーテル学院大学大学院 臨床心理学専攻) 「青年期における親との死別体験とその影響」
	15:40~15:50	休憩
	15:50~16:50	構想発表3(SV:阿部正子・塚原節子) 伊藤文子(新潟大学大学院 保健学研究科) 「アスペルガー障害児の養育とサポートに対する母親の認知的変化 に関する質的研究」
	16:50~17:00	休憩
	17:00~17:40	M-GTAに関する質疑応答(フロアとスーパーバイザー) 阿部 正子(筑波大学大学院 人間総合科学研究科) 小倉 智子(ヤマザキ動物看護短期大学) 佐川佳南枝(立教大学大学院 社会学研究科) 塚原 節子(岐阜大学 医学部 看護学科) 山崎 浩司(東京大学大学院 人文社会系研究科)
	17:40~17:45	閉会の挨拶 佐川佳南枝(立教大学大学院 社会学研究科)
	17:45~18:00	親睦会〔自由解散〕
	18:30~	懇親会〔25~30名〕

趣旨: M-GTAを活用して修士論文を書き上げた学位取得者たちに、その領域的知見と方法論的な苦労や工夫について発表してもらい、後学の参考とする。また、現在M-GTAを活用して修士論文にとりかかろうとしている修士課程生にも構想発表をもらい、スーパーバイザーやフロアとのやり取りを通じ、研究の洗練を促す。本発表会は、M-GTA研究会の定例会の一環として実施するが、参加者を会員に限定せず、ある程度の公開性をもたせる。
(企画責任者: 山崎浩司)